

◆攻撃方法

優先行使度	部位	名称	範囲	ダメージ
6	頭	ノイズ	任意の高度全て	人間性-2
その巨体により轟く咆哮はただの音にあらず。ハンターのコアに直接響く強烈なノイズなのだ。その衝撃は、ハンターをして頭が割れるほど。この攻撃を受けたハンターは次のラウンド、マテリアルをコストにした攻撃スキルを使用できない。				
3	頭	ファーザー・ダゴン	任意のエリア2つ	人間性-3
ダゴンとは父なる存在の御名である。淀んだ大海に潜む王の声は、その領地に足を踏み入れたハンター達の心を引き裂くだろう。この攻撃を受けたハンターは、次のラウンドで行う回避判定の出目を-3する。				
1	任意の腕	マッドダイブ	任意の高度の、左右いずれかのエリア全て	3
振り回される剛腕と汚泥の塊が、敵を圧殺する。ダゴン型にとって水中は己の王国に他ならない。そこに足を踏み入れるということが如何に無謀か、ハンター達は己の身を持って証明させられることになる。この攻撃を受けたハンターは、次のラウンドで効果量のない移動オプションを使用できず、移動の効果量を半分にする（最低1）。				
2	胴	エコーバースト	水中である正面か背面全て	4
コアの共鳴波が、水中で回避不能の衝撃へと進化する。縦横無尽に動くハンターとはいえど、逃げ場なき奔流に対処する術は無い。ただ巻き込まれ、なすすべなく押し流されるのが関の山だ。この攻撃によるダメージはスキルの効果で減少できない。				
4	尾	ハイドショック	水中である任意のエリア2つ	3
認識の範囲外から、不意を突く一撃。ダゴン型の下半身が蛇と化しているのには相応の理由がある。水底に隠された奥の手は、用心深い狩人さえ仕留める暗器なのだ。この攻撃を受けたハンターが、次のラウンドで得るAPは半分となる。				
5	任意の幾多の落とし子	ディーブワン	高度1または高度2の任意のエリア	特殊
王は「深きもの」に傳 <small>かた</small> される。それは溢れた殺意と、狡猾な本能の具現である。深き領域に踏み込んだが最後、ハンターはダゴンを父祖とする王国との決戦を覚悟しなければならない。対象PCは、〔全損していない「幾多の落とし子」の部位の数÷対象PC〕（端数切り下げ）点のダメージを受ける。				

□運用指針

ダゴン型の最大の特徴は、己の領域からほぼ動くことなく、「ディーブワン」と呼ばれる小型コロッサルに領域の拡大を任せる所にある。接近を察知することは簡単であるが、その領域——ゾーンの拡大を止めるのは困難だ。このため拠点を守るなら、ハンターは早期に敵の領域への侵攻を強いられることになる。自身のゾーンに取り込んだ人々が容易に破滅することを、この老獪なコロッサルは理解しているのだ。

取得ExP	PC一人につき19点
-------	------------

地上マーカー	高度2
--------	-----

◆耐久力 2人/3人/4人

部位	外殻	コア
頭	85/125/165(M)	100/160/220(M)
腕×2	70/110/150	50/75/100(G)
胴	80/120/160(露)	
尾	60/90/120	40/60/80 (S、G)
幾多の落とし子(上)×4	20/30/40 (C)	25/50/75 (C)
幾多の落とし子(下)×4	50/75/100	35/55/75

◆牽制攻撃

名称	範囲	ダメージ
コール・オブ・ダゴン	任意の高度全て	2
水中より王の声が世界へと伝播する瞬間、大地は腐った汚泥へと変貌する。世界は彼らの領域へと変成され、衝撃が世界を揺るがす。コロッサルは、任意に〔浮上〕か〔潜航〕を行う。		
ディストーションバレス	水中である任意のエリア2つ	人間性-2
ダゴンとその眷属の声が、世界へと波及した瞬間。ハンターの心に去来するのは自己を喪失しかねない程の眩暈と幻覚だ。その狂気は、彼らにとって何よりの美味となる。この攻撃が命中したとき、名称に「幾多の落とし子」と付く部位1つの耐久力が30点回復する（破壊されていても復活する）。		